

新長崎市史 第三巻 近代編 目次

序 章 近代長崎の幕あけ

第1章 近代都市長崎のさきがけ

維新直後の長崎／明治初期の地方行政と長崎／居留地と都市基盤整備の近代化／信教の自由と思想・文化

第2章 長崎市の誕生

市街地形成と都市生活基盤の整備／長崎市の市制施行と政治状況／近代学校教育の成立

第3章 地域の発展と対外関係

港湾改良事業と鉄道敷設／国際都市長崎の活況／明治期長崎の社会と生活／明治期の女性と地域社会

第4章 地域の社会と文化

居留地社会の形成と展開／居留地の生活文化／長崎華僑の歴史／近代長崎の文化

第5章 地域における産業と経済

近代産業の創成／石炭産業の発展／長崎の農業と農村／水産業の変遷

第6章 地域社会の進展とひずみ

対外関係の変動と長崎／長崎市政と経済の変遷／学校教育の拡充と社会教育／地域社会の変動と生活

第7章 改革の動向と総動員体制化

都市化の進展と将来構想／普選体制下の市政と経済動向／人権問題と女性の社会文化活動／満州事変から日中戦争へ

第8章 総力戦とその帰結

翼賛化と対米英戦争／戦時下の教育／銃後の生活と社会／本土決戦と原爆投下

終 章 戦前・戦中から戦後へ



長崎港と中町教会／長崎大学附属図書館所蔵